

分会ニュース

JR西日本労働組合へ激励行動を展開!

私たちJR東海労大阪第二車両所分会は5月9日、松下さんが「車掌たる地位の確認を求めて」裁判闘争に打って出た事に対し、激励行動を取り組みました。JR福知山線尼崎事故から4年、JR西日本会社は未だに真の事故原因を明らかにしていません。まさにJR西日本会社の安全に対する意識が欠落しています。

今回、松下さんは長い闘病生活を乗り越え、現在も通院中ではあるが、病院の主治医は「職場復帰支援プログラムが整えば復帰可能」の付言や意見書等を松下さんは会社に提出し車掌業務への復帰を希望しています。しかし、会社は松下さんを「指令報告や旅客救護に関わり、乗務員として適正・能力に疑義がある」等の理由付けで車掌へは無理と勝手に判断しています。さらに、JR西日本会社は、尼崎事故の責任を松下さんへ押し付けています。こんな理不尽な対応は許されるものではありません。当時の話を松下さんや菅野委員長より聞き、松下さんが車掌としての責務や指令との連絡をしっかりと行っていた事にたいして、マスコミやJR西日本会社の不当な対応等が明確になりました。

JR西日本会社は事故原因の責任を高見運転士と松下車掌へ責任を押し付け責任転嫁しようとしています。この裁判は松下さんの車掌復帰を勝ち取る事は前提であるが、裁判闘争を通じてJR西日本会社の「営利優先・安全無視」の体質を社会的に明らかにすると共に、真の事故原因を究明するために立上げた事が明らかになりました。

個人責任ばかり、企業として責任は無いのか!!

JR東海会社も安全に対する意識は欠落しています。4月19日のJR名松線で発生した、二度目の無人列車走行事故に対し、一切の責任を乗務員へ責任転嫁しました。JR東海大阪第二車両所でも所報欄に「社員として基本動作の欠如とルールの逸脱が原因」として貼り出されました。責任追及で事故が無くなるのでしょうか。「事故の背後要因は何か、会社組織としての問題は無いのか」企業として責任は無いのでしょうか!そして、ユニオン養殖組合が黙認している事が大きな要因ではないのでしょうか!社員の皆さんどう思われますか!